



第16回通訳案内士制度のあり方に関する検討会

御説明資料

和歌山県
商工観光労働部観光局
観光交流課

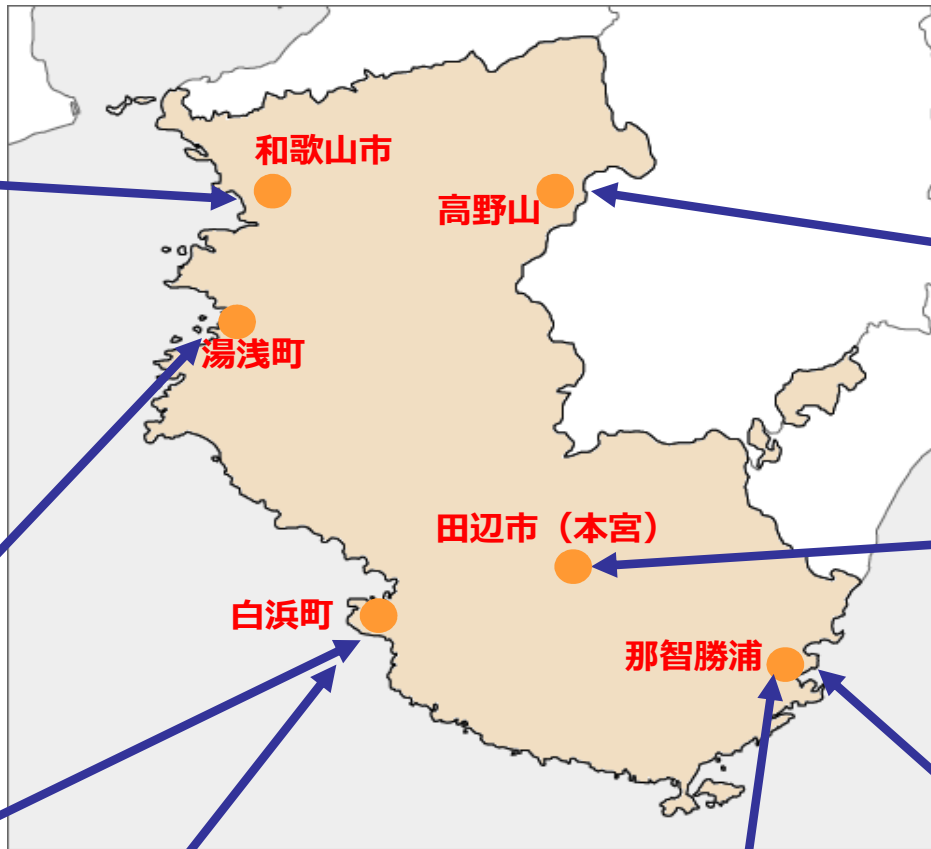
後藤暢子

平成28年8月3日

和歌山県の観光資源の一例



和歌山城



高野山 (壇上伽藍)



湯浅町 (醤油の発祥地)



熊野本宮大社 (大斎原)



円月島



崎の湯 (白浜温泉)



熊野古道 (大門坂)



那智の滝

通訳案内士の登録者数・主な通訳ガイド団体の活動状況

1. 県内市町別通訳案内士登録者数

(平成28年4月現在)

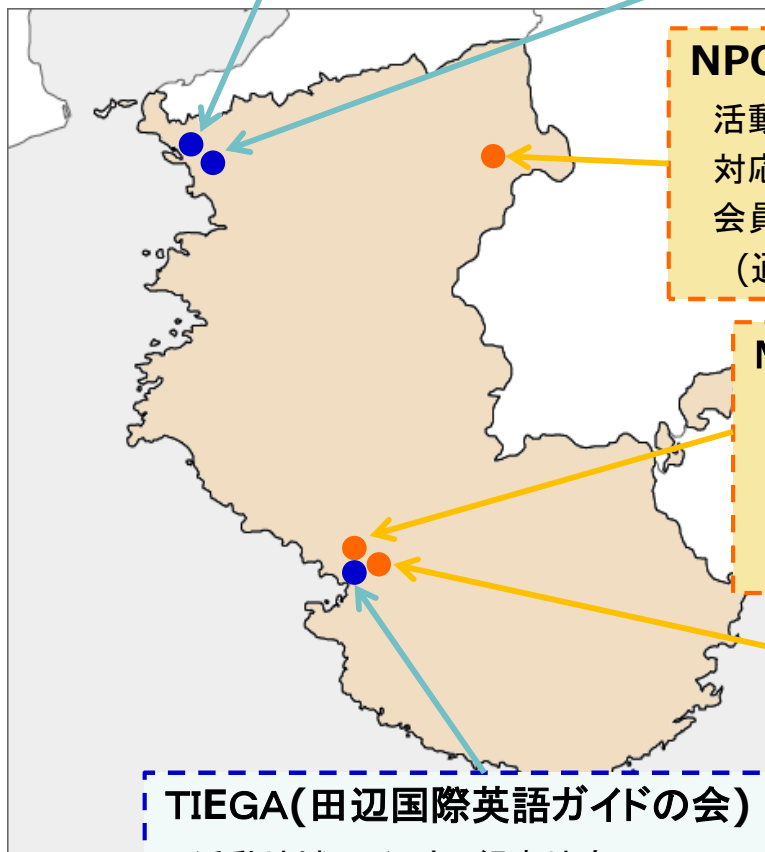
市町村	英	中	韓	他	合計
和歌山市	24	4	3	3	34
海南市	5		1		6
岩出市	4			1	5
紀の川市	2		1		3
橋本市	8	2			10
九度山町	2				2
広川町	1				1
有田川町	1				1
みなべ町				1	1
由良町	1				1
御坊市	2				2
田辺市	7				7
串本町	1				1
那智勝浦町				1	1
非居住者		1			1
合計	58	7	5	6	76

和歌山通訳ボランティアクラブ

活動地域:和歌山市
 対応言語:英・仏
 会員:20名(通訳案内士2名)

KIGA(熊野・高野国際語り部の会)

活動地域:紀北地方
 対応言語:英
 会員:7名(通訳案内士1名、特区通訳案内士1名)



NPO法人 高野山異文化交流ネットワーク

活動地域:高野町
 対応言語:英・仏
 会員:20名
 (通訳案内士4名、特区通訳案内士10名)

Mi・Kumano

活動地域:田辺市、紀南地方
 対応言語:英・中
 会員:27名
 (通訳案内士2名、特区通訳案内士11名)

Kumano Trek

活動地域:田辺市、紀南地方
 対応言語:英
 会員:18名
 (通訳案内士3名、特区通訳案内士6名)

TIEGA(田辺国際英語ガイドの会)

活動地域:田辺市、紀南地方
 対応言語:英
 会員:20名
 (通訳案内士2名、特区通訳案内士7名)

2. 近隣府県での通訳案内士登録者数

(平成28年4月現在)

大阪	兵庫	京都	奈良	滋賀	三重	和歌山	合計
1,718	1,134	815	376	164	133	76	4,416

高野・熊野特区通訳案内士育成の取組み①

総合特別区域法に基づき、『和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区』計画が認められたことにより、有償で高野・熊野地域を案内できる特区通訳案内士登録制度を創設（平成24年7月）。より地元に着した情報を有する特区通訳案内士が、世界遺産エリアをガイドできる体制を構築。

登録要件

- ・所定の語学力(英語)を有すること
TOEIC750点以上または英検2級以上
- ・県の実施する研修を受講すること（全9日～11日）

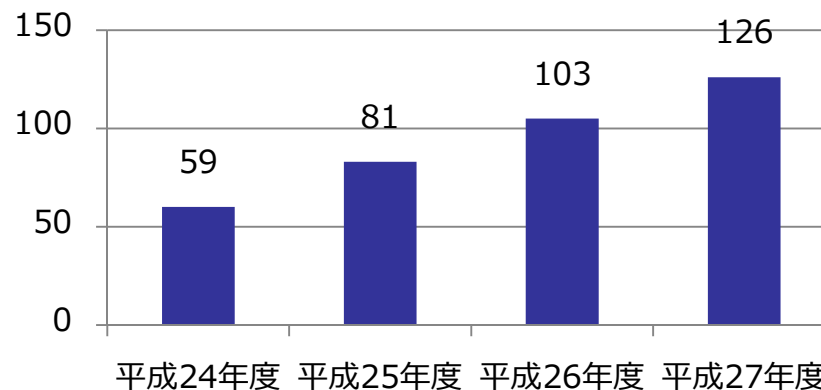
英会話研修(英検2級保持者)	10h
コミュニケーション・ホスピタリティ	2h
世界遺産地区の地理・歴史	10h
旅程管理	10h
現場実習	最低20h
- ・普通救命講習を受講していること 3～5h
- ・県の実施する口述試験(英語面接形式)に合格すること



○「高野・熊野」文化・地域振興 総合特区区域



○特区通訳案内士の登録人数の推移



高野・熊野特区通訳案内士育成の取組み②

(特区)通訳案内士を対象としたガイディングのスキルアップを目指す研修を、高野及び熊野内の5つのエリアにて実施しているほか、外国人観光客の来訪促進と(特区)通訳案内士の収入向上を目的にハイエンド向け商品の開発を実施した。また、(特区)通訳案内士のガイド情報を県のウェブサイトに掲載し、活用を働きかけている。

1. スキルアップ研修 <H25年度~>

概要:外国人モニターを交え、英語による実践に焦点を充てた研修を実施
対象:高野・熊野特区通訳案内士及び通訳案内士
場所:高野・熊野内の5つのエリア(5時間×5日、合計25時間)
講師:高野・熊野において活躍している通訳案内士等

<研修事例>

スキルアップ研修 [熊野古道①] (距離約5.5km、高低差200mの山道を歩きながら実施)

参加者数 受講者10名、講師1名、ネイティブモニター3名

■研修内容

和歌山====西牟婁====滝尻王子====牛馬童子口...牛馬童子...近露王子...比曾原王子.../
 07:30 09:00 10:00
 /...野中の清水====滝尻王子====西牟婁振興局====JR和歌山駅東口
 15:30頃 16:00頃 17:00頃 18:30頃



2. ハイエンド向け商品の開発 <H26年度~>

顧客(個人、AGT)に対するニーズ調査を踏まえたハイエンド商品の開発

ご集合:	南海電鉄高野山駅	AM11:40
高野山駅	総寺院(荷物預け)	11:40 12:10 12:20
	レストハウスみずき(ご昼食)	12:30 13:15
	高野山真言宗総本山金剛峯寺	13:30 15:00
	総寺院(本堂~庭園の説明・阿字観体験)	15:10

ご夕食後(※数珠作り体験もしくは写経・写仏体験もしくは奥の院ナイトツアー)

3. ガイド情報のホームページ掲載 <H27年度~>

県のウェブサイトにて、(特区)通訳案内士のガイド情報:名前・性別・PR・エリア・料金・連絡先・写真を掲載し、AGT等にPR

Guide name	Area	Rate	Contact info	Photo	CV
Emi Sakai	Wakayama	15,000yen	TEL: +81-90-3720-0543 E-mail: emisakai@post.nifty.jp		和歌山県 高野山地区 通訳案内士

こうした取組を通じて、就業率は25% (H26) → 41% (H28) へと向上

特区通訳案内士制度に対する評価等

特区通訳案内士制度を4年間実施した結果、通訳ガイド人材の育成等一定の成果が認められる。
一方、引き続き解決すべき課題も生じている。

【主な成果】

- ・ 特区通訳案内士制度は、幅広い住民がガイド業務のみならずその他のインバウンド関連業務に興味・関心を持つ上で有効。ガイド人材育成だけでなく、インバウンド人材育成の側面も大きい。
- ・ 24年度からの4年度で合計126名の特区通訳案内士を養成。
(参考)世界遺産関連地域の外国人宿泊者数:7.8万人(H24) → 22.2万人(H27)に上昇
県内の主要通訳ガイド団体のガイド実績数:約800人(H25) → 約1,600人(H27)
- ・ 就業率向上を目的に県庁・通訳案内士団体において、スキルアップ研修等を重点的に実施。就業率は、25%(H26)→41%(H28)に上昇。

【主な課題】

- ・ 更なる就業率、就業回数向上のための取組の検討。(更新制の導入など就業意欲の高い者を選別し、集中的に支援する仕組み、県内通訳案内士と観光関係者とのマッチングの場の提供等)
- ・ 多様なニーズに対応できる通訳案内人材の確保

通訳案内士制度の関係者に期待されること

通訳案内士制度の業務独占が廃止され、名称独占に変更されても、通訳案内士のサービスに見合った対価が担保されること、サービスの質の低下を招かないようにする必要。

【国・JNTO】

- ・ 「通訳案内士制度・団体」に関する正確かつ一元的な情報発信・積極的な広報
 - ノンライセンスガイドとの差別化が図られるように、「通訳案内士」の認知向上
 - 多様な旅行実態の旅行者に「最適なガイド」が発見できるような仕組みの検討
- ・ 通訳案内士のスキルアップに対する支援
- ・ 通訳案内士試験への更新制の導入
- ・ ノンライセンスガイドの把握・管理の仕組み

【地方公共団体】

- ・ 通訳案内士・団体との日常的なコミュニケーションの実施・必要な支援の検討
- ・ FAM、観光案内所等での通訳案内士の積極的な活用
- ・ 着地型旅行商品の開発・販売のためのプラットフォーム整備

【通訳案内士・団体】

- ・ 通訳案内士団体間の交流
- ・ 通訳案内士のスキルアップのための多角的な研修の実施(多様なニーズへの対応、全体の底上げ)
- ・ 「通訳案内士制度・団体」に関する正確な情報発信・積極的な広報

【旅行業者等】

- ・ 通訳案内士付き旅行商品の充実
- ・ 海外AGTへの積極的なPR